

平成22年10月22日

記者発表	
発表先	石川県政記者クラブ

扱い	発表を持って解禁
----	----------



国道159号 金沢東部環状道路(山側環状)

かみやち

「神谷内IC」の開通により、所要時間が約半分に短縮されました！

国道159号金沢東部環状道路(通称:山側環状)神谷内ICは、平成22年3月27日に開通しました。約6ヶ月経過後の交通状況を調査し、取りまとめましたので、その概要をお知らせします。

神谷内地区～もりの里地区までの所要時間が、最大で約半分に短縮されました。

神谷内ICを経由することにより、平日で約7分、休日で約4分、所要時間が短縮されました。

平日 開通前 約13分 開通後 約6分 (約7分短縮)

休日 開通前 約10分 開通後 約6分 (約4分短縮)

交通渋滞による損失額が、1年間で約5千万円減少しました。

国道359号神谷内交差点～鳴和交差点の間において、交通渋滞による損失額が、1年間で約5千万円減少しました。

開通前 約1億8千万円/年 開通後 約1億3千万円/年 (約30%減少)

【参考データ】～神谷内IC周辺の交通量の変化～

国道8号方面から国道359号神谷内交差点へ向かう道路では、開通直後から交通量が増加し、休日では開通前に比べ、約2割増加しています。

国道359号神谷内交差点から山側環状神谷内ICへ向かう道路では、開通直後から新たに約7,100台/12h～約7,900台/12hの利用が見られ、その後も平日の交通量は増加傾向となっています。

詳細なデータは次ページ以降を参照願います。

位置図



石川の道を安全、
快適にするための



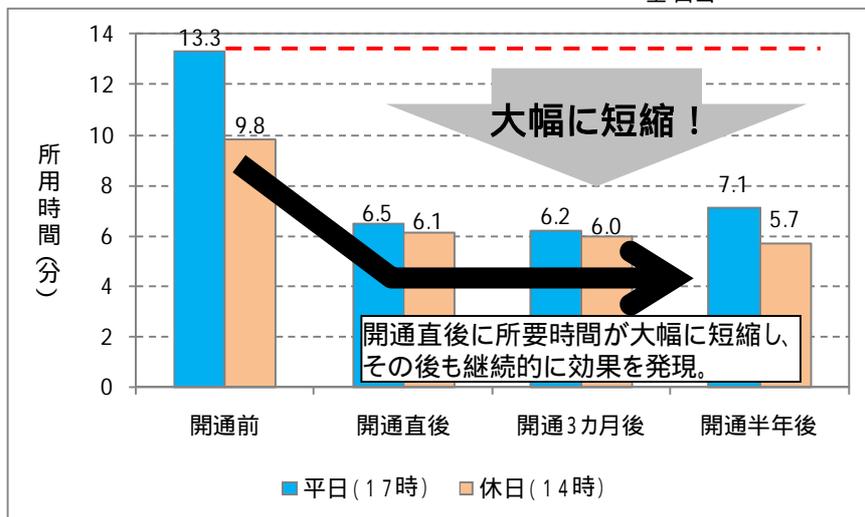
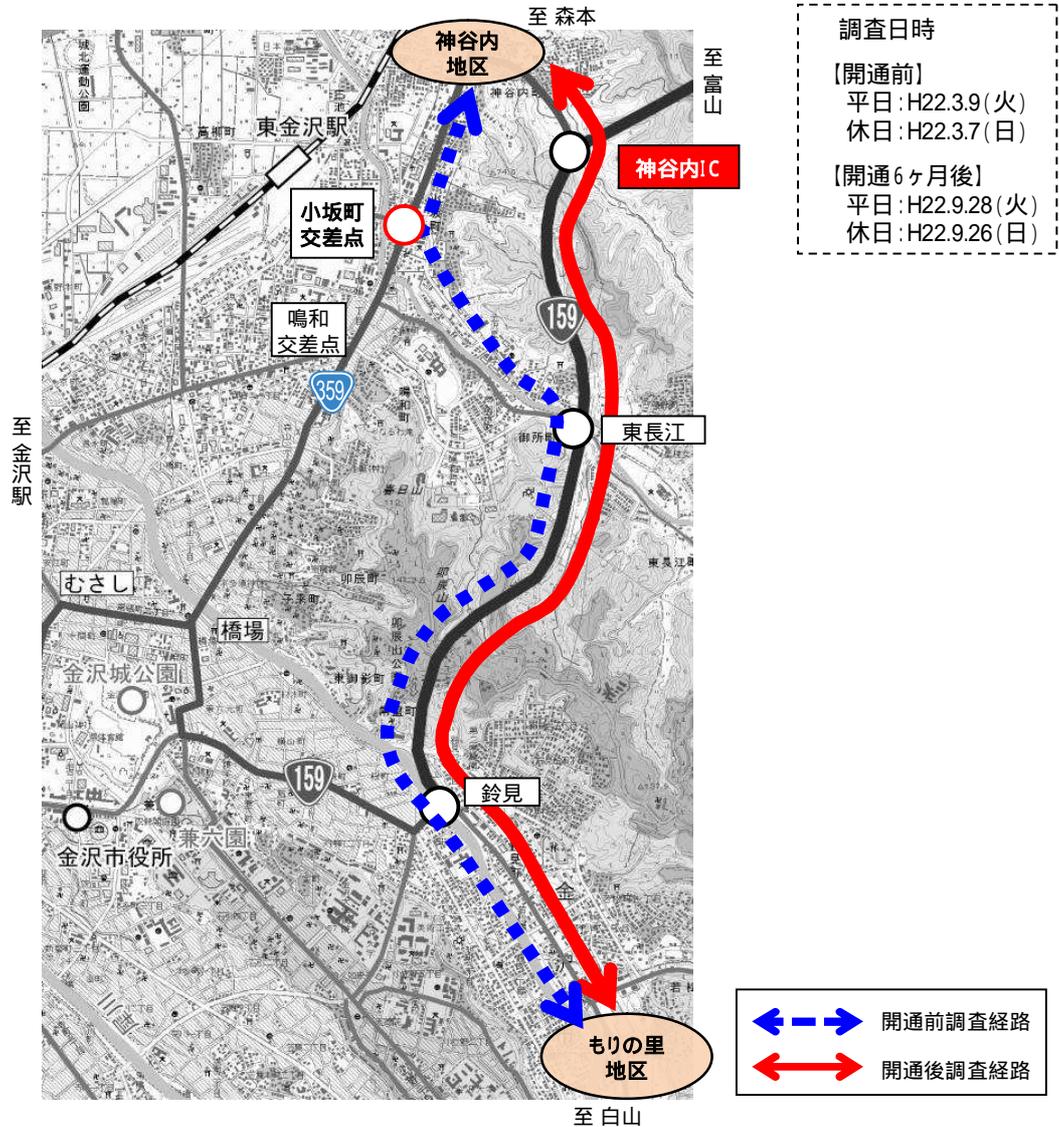
【お問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所
調査第二課 吉田 英治
電話:076-264-9912(直通)

神谷内地区～もりの里地区間の所要時間の変化

神谷内地区～もりの里地区間の所要時間の変化について

1. 神谷内IC開通前の調査では、国道359号小坂町交差点を經由する経路で、平日では約13分、休日では約10分を要していました。
2. 開通前には、神谷内ICを經由する場合で、約4分短縮すると予測していました。
3. 開通直後及び、開通6カ月後の調査では、平日では開通前の予測を上回る約7分、休日では予測と同程度の約4分の時間短縮がそれぞれ確認されました。



< 神谷内地区～もりの里地区間の所要時間の変化 >

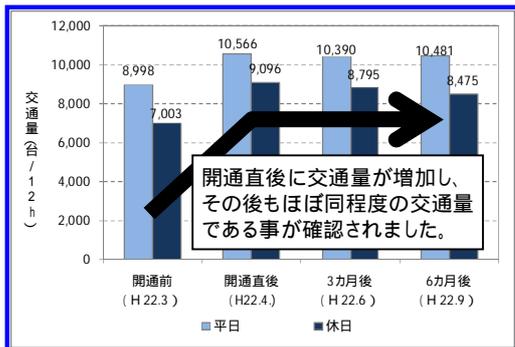
【参考データ】 神谷内IC周辺の交通量の変化

神谷内IC周辺における交通量の変化を把握するため、国道8号方面～国道359号神谷内交差点間、国道359号神谷内交差点～山側環状神谷内IC間において、平日と休日の日中12時間(7時～19時)の交通量を調査しました。

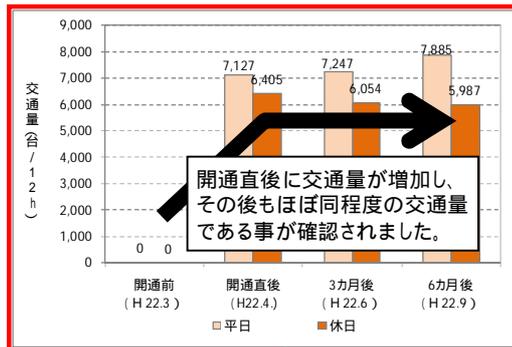
国道8号方面～国道359号神谷内交差点間 (都市計画道路 千木神谷内線)
 神谷内IC開通直後、3カ月後、6カ月後の各調査段階において、開通前に比べて交通量は、平日では約15%、休日では約20%増加しました。

国道359号神谷内交差点～山側環状神谷内IC間 (神谷内ICアクセス道路)
 神谷内IC開通直後より、新たに約7,100台～約7,900台の利用がみられ、その後も平日では交通量は増加傾向となっています。

国道8号方面～国359号神谷内交差点間



国道359号神谷内交差点～山側環状神谷内IC間



【位置図】

